

J Aバンク山梨における地域密着型金融の取組状況（平成 25 年度）

J Aバンク山梨（山梨県内 J Aと山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 25 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク山梨の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1） 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 26 年 3 月末時点の J Aバンク山梨の農業関係資金残高^{（注 1）}は 2,407 百万円（うち農業経営向け貸付金 1,869 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注 2）}残高は 1,307 百万円を取扱っています。

（注 1） 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2） J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	26 年 3 月末現在
農業	1,869
穀作	81
野菜・園芸	205
果樹・樹園農業	421
工芸作物	
養豚・肉牛・酪農	88
養鶏・鶏卵	1
養蚕	
その他農業	1,069

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

農業関連団体等	538
合計	2,407

【資金種別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	26年3月末現在
プロパー資金	1,157
農業制度資金	1,249
農業近代化資金	714
その他制度資金	535
合 計	2,407

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク山梨が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	26年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,307
そ の 他	
合 計	1,307

(注)

JAバンク山梨では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク山梨における主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いについては以下のとおりとなっています。

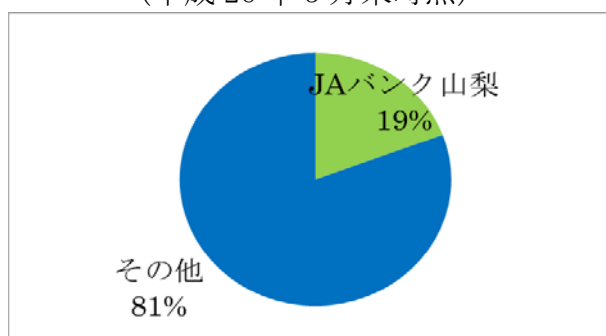
【山梨県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】

農業近代化資金 融資残高のシェア
(平成25年12月末時点)

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア
(平成26年3月末時点)



出所：山梨県農政部



出所：日本政策公庫農林水産事業「業務統計年報」

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク山梨では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する資金提案活動を実施しています。また、県内11 J Aの本店には20人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

また、農業融資担当者の金融対応力向上を目的に、J Aバンク独自の農業融資資格制度である「J Aバンク農業金融プランナー」の資格取得を進めており、J Aバンク山梨では、平成26年3月末現在で県内20名の資格取得者がおります。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、J A信用部門は営農・経済事業等との連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 単位 件, 百万円

	平成25年度 実行件数	平成25年度 実行金額	平成26年3月末 残高
就農支援資金（転貸）	3	5	65

(2) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

J Aバンク山梨では、山梨県商工会連合会などと連携し、生産者・J Aと加工流通業者との商談会を共催し、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	総来場 者数	内容
平成25年度農商工 連携マッチングフェア	平成26年 1月29日	山梨県商工会連 合会	67団体	251名	9件成約

(3) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク山梨では、行政などの各関係機関と協議・連携を図り、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 25 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	A のうち再生計画を策定した先数 a	A のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	A のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		1	1			100.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	2	2		2	100.0%	
	うち 要管理先③						
破綻懸念先④		1	1		1	100.0%	
実質破綻先⑤							
破綻先⑥							
小計(②～⑥の計)		3	3		3	100.0%	
合計		4	4		3	100.0%	

・注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 26 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク山梨では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。

山梨県における融資の実績は次表のとおりです。

【山梨県における 25 年度活用実績】

単位 件, 百万円

	平成 25 年度	
	件数	残高
農産物	1	5
畜産物		
機械設備		
その他		
合計	1	5

(2) 低利な農業資金の活用

J Aで取り扱う「J A農機ハウスローン」や「農業近代化資金」の借入者に対して「J Aバンクアグリ・エコサポート基金」が最大1%の利子助成を実施するJ Aバンク利子助成制度を活用し、地域農業の中心となる担い手経営体を含め多様な農業の担い手に対し、農業資金借入時の借入負担を軽減することでそれぞれの農業経営がより成長していくよう支援を行いました。

【活用実績】

単位 件, 千円

年度	件数	金額
19年度	45	218
20年度	124	1,315
21年度	185	1,859
22年度	201	1,927
23年度	202	1,831
24年度	199	1,641
25年度	182	1,546
合計	1,138	10,337

(3) 農業法人向け信用供与

アグリビジネス投資育成株式会社と連携して、農業法人の育成のための資本供与の枠組み（アグリシードファンド）を活用し、地域農業の担い手になりうる農業法人へ資本供与を実施しました。

【25年度実績】

単位 件, 百万円

	平成25年度 取扱件数	平成25年度 出資金額	平成26年3月末 出資金額計
アグリシードファンド	1	10	10

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク山梨では、春先の凍霜害の被災者を支援するため、災害資金の創設等による低利融資を対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内容	件数	貸付実行金額
凍霜害等による減収農家への災害資金対応	J A甲府市	無担保・無保証人による低利な資金対応をしました。	1	1
	J A西八代	低利な資金対応をしました。	2	2

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
	J Aフルーツ山梨	春先の凍霜害により農産物の被害を受けた組合員に対し、行政と当組合の利子補給を受けた実質無利子の資金を対応しました。	24	28
	J Aふえふき	春先の凍霜害により農産物の被害を受けた組合員に対し、行政と当組合の利子補給を受けた実質無利子の資金を対応しました。	41	47

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク山梨は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県内の小学校 185 校へ、10,000 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県内 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J Aフルーツ山梨	夏休み子供工作教室 および食農教育	管内の小学生を対象に野菜の育成や地産地消の料理教室などを取り入れた取組み。
J Aこま野	南アルプス市の 「日本一」を味わおう	管内の小中学校の給食に「すもも」を提供し、日本一の「すもも」を伝える取組み。
J Aふえふき	お米作り体験学習	田植えや稲刈りなどの農業体験を行うことで、農業への理解を深める取組み。
J A梨北	農業体験学習支援	管内の小学校へ農作業栽培用の堆肥を配布し、農業栽培を指導する取組み。
	家族料理教室	管内の園児・小学生とその家族が、地元で収穫された米や野菜を使って、料理をしながら、地産地消の大切さを考える取組み。
	郷土食フェスタ	次世代を担う子供たちに伝統の郷土料理を伝えるとともに、安全安心な地元の農産物の消費拡大を目指し、地産地消を取組み。

・上記には J Aバンク食農教育応援事業を活用した取組みが含まれます。

以 上